



# 松本市図書館だより

平成28年 10月1日発行 第43号

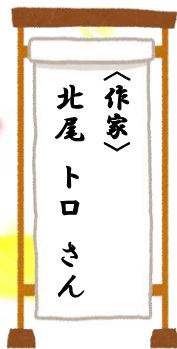
編集・発行 松本市  
中央図書館  
〒390-0861  
松本市蟻ヶ崎 2-4-40  
電話/0263(32)0099

## 10月29日(土)は図書館まつり! 今年が目玉は?

平成6年から始まった図書館まつりでは、毎年目玉となる企画を用意しています。ある年はアルパ演奏者の川窪裕子さんのコンサート、またある年はTCアルプさんの演劇公演など、多様な企画を開催し盛り上がってきました。そして今回、図書館創設125周年を記念して行われる第22回目の図書館まつりは、松本市を舞台にしたエッセイ「獵師になりたい!」でおなじみの『北尾 トロ』さんの講演会を開催します!

北尾さんには松本の図書館を普段からよく利用していただいているほか、講演会タイトルが「図書館があるじゃないか」となっています。図書館への愛が感じられますね。いったい、どんなことが語られるのか、今からとても楽しみです!

恒例となっているリサイクル本の配布や、ミニおはなし会もあります。皆様のご来館を職員一同お待ちしております。



1958年、福岡県生まれ。ノンフィクション作家。  
2012年、松本市へ一家で移住。松本市中央図書館のヘビーユーザーでもある。『獵師になりたい!』他著書多数。

### イベントスケジュール

#### ①北尾トロさん 講演会

時間: 14時~15時30分

場所: 3F 視聴覚室 定員: 90名 (要申込み)



#### ②ミニおはなし会

時間: 10時、11時、13時30分 場所: 児童室

#### ③リサイクルひろば ~本や雑誌をお譲りします~

時間: 8時~13時 1人20冊まで

場所: 3階第1・2会議室 (うち児童書は10冊まで)

問い合わせ先: 中央図書館 ☎32-0099

## 10月の図書館イベント

### ◆折り紙講座

八口ウインのおりがみをつくらう

10月22日(土)

時間: 10時30分~12時

場所: 空港図書館会議室

定員: 20名 (要申込み)

持ち物: はさみ

問い合わせ先: 空港図書館 ☎86-8460



### ★松本山雅特製しおりの配布★

松本山雅ファンは必見!! 秋の読書週間中、本を借りていただいた方に 松本山雅FC 特製しおりを差しあげます。

(各選手お一人様1枚。なくなり次第終了)

10月22日(土)~10月27日(木): シュミット ダニエル選手

10月28日(金)~11月 1日(火): 石原 崇兆選手

11月 2日(水)~11月 6日(日): 高崎 寛之選手

### ★リサイクル本配付日程★

・西部図書館: 10月22日(土) 10:00~15:00

10月23日(日) 10:00~15:00

・寿台図書館: 10月23日(日) 11:00~

・中央図書館: 10月29日(土) 8:00~13:00

・波田図書館: 10月29日(土) 10:00~

10月30日(日) 10:00~

※詳細は図書館までご連絡ください。



### ◆大人も子供も楽しめる!

#### 秋の落語会

10月29日(土)

時間: 14時~15時30分

場所: あがたの森文化会館 2-8 教室

定員: 50名 (要申込み)

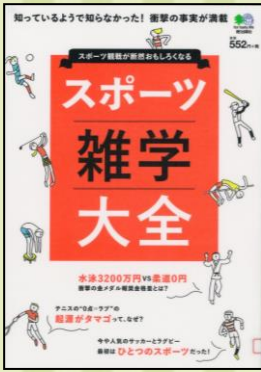
講師: まつかわ落語会 「風まんだら」

問い合わせ先: あがたの森図書館 ☎32-1761

スポーツの秋!  
山雅を応援しよう!



# 新刊のご案内



「スポーツ雑学大全」 榎出版社 【780 ス 所蔵館：南部・梓川】  
 10月に入り、スポーツの秋の到来ですね。リオオリンピックでの日本人選手の活躍によって、スポーツに興味を湧いた方も多いと思います。「マラソンはどうして42.195km?」、「卓球台はなぜ青い?」などの素朴な疑問、人気スポーツの起源や世界記録も紹介。雑学満載のこの本を読んでもっと楽しくスポーツ観戦してみませんか?

「ピーカーくんとそのなかまたち」 うえたに夫婦/著 誠文堂新光社  
 【407 ウ 所蔵館：中山・波田】

理科の実験道具が、可愛いキャラクターになって紹介されている本です。ピーカーやフラスコといったメジャーな道具から、「そういえば見たことあるなあ」と思うような道具まで、使い方や特徴がコミックエッセイ風に描かれています。理科や実験好きにはたまらない一冊です。お子様にもどうぞ。



## 予約本ベスト5

平成28年8月15日～  
 平成28年9月15日受付

### 一般書

- 1位『コンビニ人間』 村田 沙耶香/著、文藝春秋
  - 2位『アンマーとぼくら』 有川 浩/著、講談社
  - 3位『どんなに体がかたい人でも  
ベターッと開脚できるようになるすごい方法』  
E i k o/著、サンマーク出版
  - 4位『陸王』 池井戸 潤/著、集英社
  - 5位『危険なビーナス』  
東野 圭吾/著、講談社
- 『東京會館とわたし 上』  
辻村 深月/著、毎日新聞出版

### 児童書

- 1位『おしりたんてい ふめつのせつとうだん』  
トル/さく・え、ポプラ社
- 2位『いかにんじゃ』  
みき すぐる/さく、PHP研究所
- 3位『おしりたんてい  
むらさきふじんのあんごうじけん』  
トル/さく・え、ポプラ社
- 『かいけつゾロリのおいしい金メダル』  
原 ゆたか/さく・え、ポプラ社
- 5位『おしりたんてい やみよにきえるきよじん』  
トル/さく・え、ポプラ社
- 『さかなクンの一魚一会』  
さかなクン/著・イラスト・題字、講談社

## 図書館に聞いてみよう!

### 【今月の事例】

Q. お月見について知りたい。

A.

- ①「年中行事」  
(新谷尚紀・監修/2009年/ポプラ社)
- ②「家族で楽しむ歳時記・にほんの行事」  
(近藤珠實・著/2007年/池田書店)
- ③「日本大百科全書 15」(1994年/小学館)

お月見は、旧暦8月の十五夜、旧暦9月の十三夜に月を祀ることをいいます。この風習は、奈良時代に中国から貴族社会に伝わり、江戸時代になると庶民にまで広まりました。

十三夜は日本独自の風習で、十五夜の月見をしたならば、十三夜も月見をしなければ「片(かた)見(み)月(づき)」といい、縁起が悪いといわれています。お供えは、地域差はありますが、月見団子や秋に収穫した果物をお供えします。

十五夜ではサトイモを供え「芋名月」、十三夜は栗や豆を供えること「栗名月」、「豆名月」とも呼ばれます。今では行われていませんが、十五夜十三夜は、他人の家にあるお供え物や他人の畑の作物を勝手にもらってもよいとされていました。

図書館には、調べ物のお手伝いをするサービスがあります。本についての問い合わせ以外にも、身近な疑問についてもお調べしていますので、お気軽にご利用ください。

### FMまつもと 今月の出演

10月 5日(水) 12:30～  
 チャンネル：79.1MHz

※放送日等変更になる可能性もあるのでご了承ください



フェイスブック QR コード

フェイスブックやっています!

松本市図書館 アルプスの山々